

# SA 連協 創立 35 周年記念誌

—シルバー通信特集号—

## シルバーアドバイザー憲章

私たち、シルバーアドバイザーは、永年にわたって  
貴重な知識や経験、技術を培ってきたことに誇りをもち、  
絶えず自らの生き甲斐の高揚につとめます。



2025年大阪・関西万博



大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

写真提供：2025年日本国際博覧会協会

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 理事長挨拶 大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会理事長 村松 秀明 | 2  |
| 祝辞 大阪府知事 吉村 洋文                    | 3  |
| 認定NPO法人 大阪府高齢者大学校理事長 古矢 弘道        |    |
| NPO法人 大阪区民カレッジ理事長 渡邊 耕平           |    |
| NPO法人 大阪府民カレッジ理事長 泉川 渥洋           |    |
| 認定NPO法人大阪府北部コミュニティーカレッジ会長 猪谷 義博   |    |
| 大阪府高齢者大学校 校友会会長 開発 泰宏             |    |
| 1 連協あゆみ 大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 沿革     | 7  |
| 2 大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 将来ビジョン       | 10 |
| 3 地区のあゆみ                          |    |
| ① 北ブロック(3地区)                      | 12 |
| ② 中ブロック(7地区)                      | 13 |
| ③ 南ブロック(5地区)                      | 17 |
| 4 団体のあゆみ 広域(4団)                   |    |
| 5 部門別沿革                           |    |
| ① 渉外部                             | 23 |
| ② 交流活動部                           | 24 |
| ③ 広報部                             | 25 |
| 6 ボランティア施設の声                      |    |
| ① ブロック(3地区)                       | 26 |
| ② 中ブロック(5地区)                      | 27 |
| ③南ブロック(3地区)                       | 30 |
| 7 ボランティア会員の声                      |    |
| ① 北ブロック(3地区)                      | 32 |
| ② 中ブロック(7地区)                      | 33 |
| ③ 南ブロック(3地区)                      | 35 |
| 8大阪府SA連協 35年のあゆみ                  | 37 |
| 9 新規事業報告(SA ネット大阪の事例)             | 40 |





## 35周年を迎えてのご挨拶

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会  
理事長 村松 秀明

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会が設立35周年を迎え、本記念誌の紙面をお借りして御挨拶を申し上げます。

まずはSA会員の皆様とともに35年を迎えられた事を素直に喜びたいと思います。またそれを支えて頂いた関係団体の皆様、大阪府高齢介護室及び府内各市町村の行政・社会福祉協議会の皆様に35年にわたるご支援に対し、心からお礼を申し上げたいと思います。

35周年を迎えるにあたって、昨年より団体としての課題を整理し、我々の目指すビジョンを明確にし、与えられたミッションをはっきりとさせるという作業に取り組みました。個別具体的には故新鞍前理事長が示された以下5項目の実践は変わりません。

- ① 地区SAを元気にする
- ② 地区SAの情報交換の活性化
- ③ 有償ボランティア化の推進
- ④ 新しい知識の獲得
- ⑤ 行政との連携

新鞍様は病と闘いながら、この5項目の実践に粉骨砕身の努力を重ねられた事、本当に頭の下がる思いです。このような先輩の思いを引き継ぎ、また次にバトンを渡して行く事が我々の使命だと思っております。

1990年（平成2年）の設立以来、多くの先輩がSA活動に関わり、その足跡を残されてきました。現時点での課題を整理する中で、10年前、20年前も、その課題が今と変わらなかった事に驚きがありました。考えてみれば当然であるものの、高齢者団体が抱える課題は高齢化による活動者の減少です。それぞれの時期において、様々な方策で、その課題に対する解決策を実施してきました。今、我々に与えられたミッションは新たな活動者を作る事です。大阪は全国で介護保険料が一番高い地域で、これを解決するのは元気な高齢者を如何に多く作るかという事です。現在われわれSAのグループでは571人が元気に活動していますが、その事を社会貢献の金額に直すと11億4千万円になると言われております。これは元気なシニアは一人年間200万円かかる介護医療費を使っていない事から割り出した金額です。社会活動するシニアと、活動しないシニアとの比較調査で介護状態になるリスクが十数倍違うという研究もあります。それ以外に、それぞれの活動で関わった高齢者施設、子ども達へ与えた貢献活動を加えると、社会貢献の金額換算はもっと大きな金額になります。われわれが活動していく中で仲間を募って行くと言うことは重要な事です。それは我々の団体存続の為だけではなく、新しい仲間の為にもなり、取り巻く社会の為にもなるという事を自覚して、これから先、活動者を増やす事を第一に、様々な事を進めていきたいと考えております。

コロナ禍の時代を経て、これからも様々な場面で様々な活動を進めていきます。2017年に大阪府高齢者大学校が発刊した「**高齢者が動けば社会が変わる**」という本が有ります。我々シニアに対して沢山の刺激を与えてくれる本で、何よりこの表題が素晴らしいと思っております。今こそ、シニアが底力を発揮し社会を変える意気込みで活動していきたいものです。元気に自分たちの為に、周りの人の為に、社会の為に、精一杯活動していきましょう。そして今後、皆様の益々のご活躍をお祈り致します。



## 設立 35 周年を祝して

大阪府知事  
吉村 洋文

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会が発足 35 周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

貴協議会につきましては、シルバーアドバイザー養成講座の修了生の皆様が平成 2 年に立ち上げられてから今日まで、長きにわたりボランティア活動を通じた地域福祉の推進に積極的に取り組んでこられました。この活動の場は今では府内 18 地区へと広がり、おもちゃづくり、似顔絵などの創作活動や歌体操といった多彩な活動を通じて世代間交流に積極的に取り組まれるとともに、地域組織や NPO などと連携して地域社会の活性化に大きく貢献いただいていることに深く敬意を表します。

人生 100 年時代において、高齢者の社会参加は、孤独感の軽減や健康の向上に寄与し、認知機能の維持にも効果的と言われています。また、経験豊富な高齢者がコミュニティに貢献することで世代間の交流が促進されることから、社会の活力を高める重要な役割も果たしています。皆様方がボランティア活動を通じ、健康で、自分らしく有意義に過ごされることが、大阪府のめざしている、「全ての人が共に支え合い、健康で幸せに暮らすことができる社会」の実現に寄与するものとして大変心強く感じています。

大阪府においても、府民一人一人が主役として豊かさを実感できる社会の実現をめざし、市町村や地域の方々と連携した「健康づくり」、「生きがいくづくり」、世代を超えて地域の方々が共に支え合う「地域づくり」に引き続き取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

また、先日、2025 年大阪・関西万博が閉幕いたしました。今回の万博は、未来に夢と希望を与え、大阪から明るい未来を切り拓いていく「未来への羅針盤」となりましたが、貴協議会の皆様には、その成功に向けて多岐にわたる御協力をいただきましたことに、重ねて感謝申し上げます。

結びに、発足 35 周年を契機としまして、大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会の今後益々のご発展と皆様がボランティア活動を通じて御活躍されることを心から祈念し、お祝いの言葉といたします。



## 認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校

理事長 古矢 弘道

ますますのご発展とご活躍を！

創立 35 周年、誠におめでとうございます。コーダイグループを代表して、心よりお祝い申し上げます。

私が SA 連協と深く関わり始めたのは 2011 年頃からだたと記憶しています。当時、16 ページからなるコーダイと校友会の初めての共同機関誌「れいんぼう・絆」を発行するにあたり、コーダイのスタッフと同窓会東淀川の会長という立場から、共同機関誌の編集・校正・発行までを担当していました。そのなかで、貴組織やコーダイ、他同窓会から原稿を提供いただいております、とりわけ貴組織の記事は 16 ページ中 3 ページを占めていた各地区からの原稿を拝読することで、活動内容を十分に理解できていました。当時、24 地区、会員は約 1,000 名だったと記憶しています。当時から会員の皆さんの活動にかける意欲や情熱が、紙面からも十分に伝わっており、読者にもアピールできていたと思います。また、昔は大阪府知事より授与される SA 認定証の影響力が非常に大きかったとの話も耳にしておりましたので、あらためて当時の様な価値ある SA 認定証として多くの皆さんに思ってもらえる様になればと願っています。

現在、コーダイは設立 17 年目を迎えましたが、貴組織の 35 年という歩みに比べれば、まだ道半ばにも満たない歴史です。35 年という長きにわたり、社会のために素晴らしい活動を継続してこられたことに、深く敬意を表します。

社会の大きな変化の中にあっても、変化に柔軟に対応しながら、地域や社会に活力をもたらす活動を継続されていることは、私たちにとっても大きな励みであり、目指すべき姿であります。これからも貴組織のますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます



## NPO 法人大阪区民カレッジ

理事長 渡邊 耕平

大阪府シルバーアドバイザー（SA）連絡協議会 35 周年、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

貴連絡協議会は大阪府の「アクティブシニアがあふれる大阪事業」のコンセプトに基づく「シルバーアドバイザー」の趣旨を具現化され、平成 2 年に立ち上げられて以来、35 年間という長きにわたって組織活動をされています。

大阪府下の市町村に 19 グループもの組織を擁され、各グループがそれぞれの地域でおもちゃ部会や歌体操部会、国際交流部会や健康管理部会そして福祉部会等様々な活動に取り組み、仲間づくりを行い、ボランティア活動・地域福祉の向上・推進に積極的に取り組むとともにネットワーク化に貢献されてきました。また直近ではウクライナ支援活動にも手を差し伸べられており、それらのご活動・ご活躍について、心から敬意を表します。

当大阪区民カレッジはシルバーアドバイザー養成講座校として 9 校を擁しており、毎年 350 名以上の方が受講されています。しかし、受講生にはリピーターも多く新規の SA 資格取得対象者は少なく、昨年の SA 認定証取得者は 34 名でした。

今後、新規受講生である SA 資格取得対象者を増やし、貴協議会の加入者増に貢献できるよう努めたいと考えています。

貴協議会が発足 35 年を契機として、今後ますますのご発展・ご活躍を祈念いたしますとともに皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



・NPO 法人大阪府民カレッジ  
理事長 泉川 渥洋

S A連協 35 周年、大変おめでとうございます。

「継続は力なり」を文字通り実践されていることに、心から敬意を表しますとともに共通する分野での共同の取り組みに感謝申し上げる次第です。

貴団体との府民カレッジ各校訪問活動は、年々成果が出始め両団体にとっても、相互理解が進んでいるところです。

急速に進む超高齢化社会にあって、高齢者は、心身の衰え、認知障害、介護問題、孤独、年金問題など切実な課題にも直面しています。これらを克服し、健康寿命の延伸で百歳時代にふさわしいいつまでも元気な高齢社会の実現のためには、地域での社会貢献活動や生涯学習活動への参加が何よりも重要になってきています。

今後とも貴団体が、益々発展され大阪の高齢者のリード役としての役割を果たされることを祈念してご挨拶とします。



認定NPO法人 大阪府北部コミュニティーカレッジ  
会長 猪谷 義弘

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会の皆様、

このたびは、設立 35 周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

多年にわたる貴会の歩みの中で、多くのシルバーアドバイザーの皆様が、地域社会の活性化と高齢者の「生きがい」づくりに、ご尽力されてこられたことに、深い敬意を表します。

多様な地域貢献事業へのご参画を通じ、皆様は、高齢者の自立支援から地域住民の交流促進、さらには安全・安心なまちづくりや子どもの健全育成に至るまで、多岐にわたる分野でご活躍されています。皆様の献身的なご活動が、常に高齢者の方々の模範となり、社会全体に明るい光を灯しておられることに心から尊敬申し上げます。

私たち大阪府北部コミュニティーカレッジは、微力ながら、今後も貴会に一人でも多くの有為な人材を輩出できるよう、質の高い学びの機会を提供してまいり所存です。修了生の皆様が、これまでの経験と新たな学びを活かし、貴会の活動に新鮮な息吹を吹き込み、さらなる発展の一助となれるよう、貴会との学びのつながりを一層深めてまいります。

結びに、大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会が、この 35 周年を新たな出発点として、今後ますます発展されますこと、そして貴会の活動を通じて社会に貢献されている皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



大阪府高齢者大学校 校友会  
会長 開発 泰宏

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会、設立35周年誠におめでとうございます。

貴協議会には、校友会創設以来、ご参加・ご尽力を賜ってまいりました。

その長きにわたり、初期の頃には阪神大震災、記憶に新しいものではコロナ禍など、絶え間ない荒波の中、

地域のために一所懸命、地域福祉の活動を継続されてきた事に、改めて敬意を表します。

その活動は、多岐にわたりますが、

例えばそのひとつ、「子どもの健全育成」は、それぞれの地域の特性に基づいた支援活動を丁寧継続されております。

子どもは将来の宝。この少子高齢化のなかで、この地道な活動が、いつか必ず実を結ぶことを確信しております。

校友会の2か月ごとの会議では、貴協議会が発表されるその内容に感銘を受けることも多く、コーダイの理念である「社会貢献」をしっかりと実践されていることが校友会のほかの団体にとって良い刺激になっております。

今後とも大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会の益々のご発展を祈念いたしまして35周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



2025年度大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会役員

# 1、連協のあゆみ大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会沿革

大阪府 SA 連絡協議会の現状（令和7年4月現在）

## 役員名簿（敬称略）

|                              |   |   |                                      |   |
|------------------------------|---|---|--------------------------------------|---|
| <b>理事長</b><br>村松 秀明<br>（大阪市） | 渉外広報部長<br>松木（大阪市）<br><br>交流活動部長<br>上山（堺）<br><br>35年委員会委員長<br>小西（吹田） | おもちゃ部会長（兼）<br>上山（堺）<br>歌体操部会長<br>藤川（大阪市）<br><br>交流活動部補佐<br>百々（いずみ）<br>交流活動部補佐<br>笹本<br>（似顔絵友の会） | 事務局長<br>手塚（吹田）<br>健康管理部会長<br>笠原（大阪市） | 会計<br>下川（高槻）<br>監事<br>泉川（府民）<br>顧問<br>大川（藤井寺） |
|------------------------------|---|---|--------------------------------------|---|

| 年度            | 理事長            | 副理事長兼  | 総務   | 会計/会計監査  |
|---------------|----------------|--|--|--|
| 令和2年<br>2020年 | 新鞍 清彦<br>（大阪市） | 渉外部長<br>鈴木（ひらかた）<br>交流活動部長<br>今井（吹田）<br>広報部長<br>大川（藤井寺）  | 副理事長兼<br>事務局長<br>中島（茨木）<br>事務局次長書記<br>元坂（河内長野）<br>事務局次長書記<br>笠原（大阪市）<br>事務局次長<br>澤（茨木） | 会計<br>下川（高槻）<br>会計監査<br>中川（いずみ）<br>高林（四條畷）<br>顧問<br>木場（大阪市）<br>事務局補助<br>戸田（箕面） |
| 令和3年<br>2021年 | 新鞍 清彦<br>（大阪市） | 渉外部長<br>村松（大阪市）<br>交流活動部長<br>・歌体操担当<br>澤（茨木）<br>交流活動部長<br>・おもちゃ担当<br>下田（箕面）<br>広報部長広報誌部会長<br>大川（藤井寺） | 事務局長<br>中島（茨木）<br>事務局次長・特命<br>事項担当<br>小川（吹田）<br>書記<br>元坂（河内長野）                         | 会計<br>下川（高槻）<br>会計監査<br>宮地（池田）<br>顧問<br>木場（大阪市）                                |
| 令和4年<br>2022年 | 村松 秀明<br>（大阪市） | 渉外部長<br>手塚（吹田）<br>交流活動部長<br>下田（箕面）<br>広報部長<br>大川（藤井寺）<br>書記<br>元坂（河内長野）<br>事務局次長・特命担当<br>竹内（大阪市）     | 事務局長<br>中島（茨木）<br>事務局次長兼特命<br>担当<br>小川（吹田）<br>事務局次<br>・おもちゃ部会長<br>上山（堺）                | 会計<br>下川（高槻）<br>会計監査<br>泉川（府民）<br>顧問<br>新鞍（大阪市）                                |

|               |                  |  |   |   |
|---------------|------------------|--|---|---|
| 令和5年<br>2023年 | 村松 秀明<br>(ネット大阪) | 渉外部長<br>松木 (大阪市)<br>福祉部長<br>竹内 (大阪市)<br>交流活動部長<br>上山 (堺)<br>広報部長<br>大川 (藤井寺) | 事務局長兼国際<br>交流部会長<br>手塚 (吹田)<br>特命担当部長<br>小川 (吹田)<br>健康管理部会長<br>笠原 (大阪市)   | 歌体操部会長<br>藤川 (吹田)<br>おもちゃ部会長<br>榊本 (池田)<br>会計<br>下川 (高槻)<br>会計監査<br>泉川 (府民)<br>顧問<br>新鞍 (大阪市) |
| 令和6年<br>2024年 | 村松 秀明<br>(ネット大阪) | 渉外広報部長<br>松木 (大阪市)<br>交流活動部長<br>上山 (堺)                                       | 事務局長兼<br>国際交流<br>福祉部会長<br>手塚 (吹田)<br>書記<br>小西 (吹田)<br>健康管理部会長<br>笠原 (大阪市) | 歌体操部会長<br>藤川 (吹田)<br>おもちゃ部会長<br>伊藤 (茨木)<br>会計<br>下川 (高槻)<br>監事<br>泉川 (府民)<br>顧問<br>大川 (藤井寺)   |

(令和7年4月現在)



2025年度大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会理事

# 1、連協のあゆみ大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会沿革

<府連協の5年を振り返って「2021年」から現在まで>

| 年             | 活動・行事   |
|---------------|---|
| 令和3年<br>2021年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●府民カレッジとの交流</li> <li>●大阪府の「ええまちプロジェクト」に参加</li> <li>●コロナ禍3年目緊急事態宣言。まん延防止等重点措置の発令で諸行事中止</li> <li>●新SAあり方委員会広報プロジェクト立ち上げ</li> <li>●シルバー通信51号配布</li> </ul> |
| 令和4年<br>2022年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●SAビジョン委員会立ち上げ ZOOM 会議を定期的に行う</li> <li>●コーダイフェスタに参加</li> <li>●シルバー通信52号配布</li> </ul>   |
| 令和5年<br>2023年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ5類に移行</li> <li>●ブログ研究会休会</li> <li>●会員へのボランティア活動調査</li> <li>●パンフレットの更新</li> <li>●シルバー通信53号配布</li> <li>●故新鞍清彦氏追悼集有志で作成</li> </ul>                    |
| 令和6年<br>2024年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●船場祭り参加</li> <li>●似顔絵友の会加入</li> <li>●シルバー通信54号配布</li> </ul>  |
| 令和7年<br>2025年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●35周年記念委員会</li> <li>●富田林SA加入</li> <li>●35周年記念誌の作成</li> </ul>   |
| 毎月<br>年間      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各部会は毎月定例会を開催。おもちゃ部会は隔月に開催。</li> <li>●ブロック交流会は（北・中・南）地区で持ち回り年1回開催する。</li> </ul>  |
| 年間            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●歌体操フェスタは、ブロックが持ち回りで年1回3月頃開催している。</li> </ul>   |

## 35周年記念誌プロジェクトメンバー



## 2 大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会将来ビジョン

—ふたたび輝く SA 連協へ—

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会（以下「SA 連協」という。）は、1988 年（昭和 63 年）にスタートした シルバーアドバイザー養成講座の修了生がそれぞれ地域で福祉活動を始めた中で、府全域の連絡調整機関として、1990 年（平成 2 年）に創設されました。以来、35 年継続して活動してきたことは大きな意義を有していますが、現在、会員の高齢化と会員数及び地区 SA の減少という重大な課題に直面しています。そのため、創立 35 周年にあたって、あらためてこれまでの歩みを振り返り、今後の活動を展望した将来ビジョンを策定することとしました。

### 1 大阪府 SA 連協の 35 年の歩み

大阪府 SA 連協の 35 年はおおむね 3 つの時期に区分されます。

#### (1) 創設からの発展期（1990～2009）

大阪府 SA 連協は、創設時、会員 268 名、地区 SA15 でスタートしましたが、その後も毎年シルバーアドバイザー養成講座の修了生を迎えるとともに、新たに地区 SA が創設され、2009 年には、会員数 1,032、地区 SA23 へと大きく発展し、大阪府内における地域福祉推進の重要な担い手となりました。

#### (2) 大阪府における養成講座廃止からの後退期（2009～2012）

大阪府は、深刻な財政難から 2009 年 3 月末をもって、シルバーアドバイザー養成講座を廃止しました。養成講座は、SA 連協の有志などで創設された「NPO 法人大阪府高齢者大学校」に引き継がれましたが、養成講座の定員枠は縮小された上に、シルバーアドバイザーの資格を取得する方も減少してきました。このため、SA 連協の会員数は減少を続け、2012 年には 952 名となりました。

#### (3) 会員の SA 資格要件廃止からの転換期（2012～現在）

シルバーアドバイザーの資格取得者が減少し、しかも SA への入会率が低下する中で、SA 資格取得者だけに頼ることに限界があることが明らかになってきました。一方、SA 吹田のおもちゃ学校では SA 資格とは関係なく入会者を獲得していました。このため、2012 年に会員の SA 資格要件を廃止し、新たな発展を模索することとしました。しかしながら、この転換を十分に生かすことができず、現在会員は 571 名にまで減少しました。

### 2 SA 連協発展の可能性

一方で、この間の社会経済情勢の変化は、SA 連協が地域の幅広い高齢者の地域福祉団体へと発展していく可能性を広げています。

(1) 人生 100 年時代と言われる長寿命化 人生 100 年時代と言われるように、退職後の長い第 2 の人生を有意義に過ごすことが重要な課題となっています。SA 連協はその要請に応える活動を行っています。

(2) 健康寿命に対する強い要望 平均寿命と健康寿命の格差が大きな課題となっており、多くの方が、健康な生活を続けたいという強い要望を持っています。私たちの活動は、仲間と共に、高齢者や子どもたちの生き生きした生活をサポートしていくもので、活動している私たち自身の心身両面にわたる健康づくりに大いに貢献するものです。

(3) 従来の「支え手」の弱体化。 従来、我が国の地域福祉は、「家庭」「会社」「地域」で支えられてきましたが、いずれもその弱体化が言われています。私たちの活動は、それぞれの市町村で展開しているとともに、府域全体での連携・協力も取りうる体制を構築しています。そのため、地域福祉の新たな担い手としての可能性を有していると言えます。

### 3 SA 連協の新しい未来に向けて

SA 連協は、地区 SA や個別の SA 団体の活動をサポートし、その活動を広げていく役割を担っています。また、公的なシルバーアドバイザー制度から出発したことから、行政とのつながりや大阪府高齢者大学校や 大阪府民カレッジ・大阪区民カレッジなどの関係団体とも連携・協力の関係を有していることです。SA 連協は、その強みを生かしながら、SA がシルバーアドバイザーのみに頼る団体から脱却し、大阪府における高齢者の地域福祉団体へと脱皮していくようサポートしていく必要があります。そして、私たちの活動を大阪府における高齢者の地域福祉団体へと発展させていくために、次の 3 つの『広げる』に取り組みます。

- ① 行政機関・関係団体との関係を広げる ・地区 SA と市町村社協との連携強化をサポートします。 ・高齢者大学校、府民カレッジ、区民カレッジ、ONCC との連携を強化し、各学校で「SA 活動紹介講座」を実施します。
- ② 会員拡大の機会を広げる ・おもちゃ学校(現 吹田校、大阪校)を泉州地区に新たに設置するとともに、吹田校が北摂全域、大阪校 が大阪中部、泉州校が大阪南部をカバーするものとします。 ・歌体操活動に新たな要素を加えて会員拡大につなげていきます。
- ③ 活動領域を広げる ・地区の枠、部会の枠を超えた活動を進めます ・地区 SA の未設置地区や解散地区に新たな地区 SA を設置する取り組みを進めます。 ・「似顔絵」のように新たな活動を取り入れていきます。

以上の活動を通じて、当面、会員数を 700 人台まで増やし、地区 SA を 25 地区に拡大すること目標とします。

創立 35 周年を契機として、ふたたび輝く SA 連協を創っていくため、会員の知恵と力を集めて新しい歩みを 始めることをこのビジョンで呼びかけます。

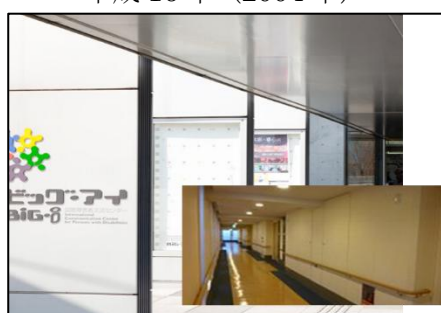
### ◆高齢者大学校・SA 養成講座一開催拠点。

認定 NPO 大阪府高齢者大学校  
平成 21 年 (2009 年)



大阪市教育総合センター  
(大阪市)

南部講座  
平成 16 年 (2004 年)



国際障害者交流センター  
(堺市)

北部講座  
平成 2 年 (1990 年)



大阪府立老人総合センター  
(吹田市)

### 3 地区のあゆみ ①北ブロック

#### ① 心ふれあい SA 吹田

心ふれあい SA 吹田は連協発足の一年前、1989年に設立。会員数は2018年の212名が最大で、ここ数年は130名前後で推移している。

現在、会員獲得の機会を独自に実施している「おもちゃ学校」と社協と共催している「歌体操ボランティア養成講座」であるがそれぞれ課題もあり今年度はその改善を大きなテーマとして取り組んでいるところである。いずれにしても会員にとって心地よい居場所であり続けたいと思っている。

##### 歌体操部会

メンバーの逡減傾向にはなかなか歯止めがかからないが施設訪問や各種イベントに積極的に参画し存在感のある活動を継続中

##### おもちゃ部会

80名を超えるメンバーが活動中。各種教室での活動に加え「夏休みおもちゃまつり」など吹田市内の小学生を対象にして恒例のイベントもすっかり定着した。

##### 国際交流部会

小学校5年生を対象とした留学生による国際理解教育を2007年から継続実施中

##### 福祉部会

小中学校での福祉教育（高齢者疑似体験）への支援に加え SA 会員対象の各種講演会を実施中



#### ② SA 茨木

今年で36周年になる伝統のある SA 茨木ですが、ここ数年は超高齢化社会に伴い会員数は、減少が続き最近では60名前後を推移しております。

事務局としては定期総会を年1回、定例役員会（12名）を毎月1回、広報は SA 茨木通信を年2回発行しております。

活動部としては歌体操部、おもちゃ部の2部で活動しております。歌体操部は茨木市社協と連携して老健施設の訪問ボランティアと歌体操養成講座に因る新規入会の活動をしております。おもちゃ部では小学校低学年を対象としておもちゃ教室で手作りおもちゃを指導しております。

それから、各部とも SA 連協交流会の参画、茨木市主催の各種イベントの参画及び府民カレッジ茨木のカリキュラムに参画し新規入会者の勧誘をしております。

又、助成金の申請に当たっては SA 連協と共働して歌体操部の老健施設訪問ボランティア及び歌体操養成講座を実施して助成金の確保に努力しております。又、物品の助成としてはイオンイエローシート、キャンペーンに参画して事務用品の助成を受けています。

これからの課題は部員、指導者が超高齢化し、部員数の減少またボランティア環境の変化（趣味、価値観の多様化、働く年齢の高齢化、ボランティアの有償化など）により新規ボランティア入会者を多く見込めない中、部員の育成とどのようにして世代交代を図っていくかということです。今後も SA 連協、茨木市社協、教育委員会、市民活動センター、府民カレッジ茨木と共働してボランティア活動を実施していく予定です。

### 3 地区のあゆみ ①北ブロック

#### ③ SA 高槻

設立 30 周年を迎えた頃 SA 高槻の会員数は 60 名だった。会員数は減少したとはいえ、SA 連協地区 SA の中ではまだ上位を占めていた。しかし高齢化が進展してゆく中、新型コロナというパンデミックに追い打ちをかけられ、会員減少が一層進み、本年 4 月の正会員は 35 名となった。コロナ下の自粛期間中は活動が皆無となったのは全地区 SA と同じであった。ただ我々にできることを模索し、当時疲弊されていた医療従事者の方々への寄金を募ったところ、25 万円を超える浄財が集まり、高槻市および大阪医科薬科大学から感謝状を頂いたことは以前報じた。そうした繋がりもあってか、この 3 年間大阪医科薬科大学看護学部から夏季に学生が歌体操部とクラフト部のイベントへ実習生として参加して頂いている。参加された学生たちの体験報告には「良い社会経験ができた、勉強になった」等の感想が寄せられ、我々の励みになっている。

コロナ以降の活動実績を振り返ると、2020 年度（延べ活動日数：150 日、延べ参加人数：245 人）、2021 年度（174 日、278 人）、2022 年度（343 日、478 人）、2023 年度（439 日、609 人）、2024 年度（552 日、561 人）となっており、会員減少下でも活発な活動が持続されているのは多とすべきだろう。

今後の課題としては、やはり新規会員を増やすことにつけるが、それが様々な事情、理由により思うように行っていないのは、他地区 SA と同様である。入会資格のハードルは数年前より低くなっている（SA コースでの学習とか認定証の取得、あるいは過去の経験等は問わない）が、ボランティア活動を志す人々の選択肢が広く、多様化していることから、苦戦が続いている。

今年の総会では、現実を見据えて、身の丈に合った活動を出来る範囲で続けてゆくという方針が採択された。具体的に言うと、例えば付き合いで入っていた公的団体からの退会とか、定例会・会報の漸減なども含まれる。有終の美を目標としたい。

### 3 地区のあゆみ ②中ブロック

#### ①大阪市 SA

令和 2 年～令和 4 年コロナ禍で、活動がほとんど出来ない状態でしたが令和 3 年に新鞍清彦から松島嘉津子に会長引継ぎ令和 4 年に松木健一が会長引き継いで現在に至っています。定例の毎月第三火曜日午後開催の役員会はこの期間も名阪ビル→双馬ビル→本庄会館→ボランティアセンタースペースに変遷していますが、新鞍会長時代の役員メンバーと新メンバーとの協力にて年 4 回発行の会員誌 SA だよりは継続しています。また、介護施設等の活動は中止になりましたが、中央区内の小学校いきいき教室での低学年児童対象としての科学教室、おもちゃ作り、ディスコン大会は継続しています。おもちゃクラブ、歌体操部、ハーモニカ部は毎月研鑽、練習しております。令和 6 年より、歌体操部、ハーモニカ部は介護施設への訪問再開しております。更にグラウンドゴルフ大会も年 1 回開催し、令和 7 年 3 回目開催予定しています。

当、SA も令和 7 年が創立 35 周年です。今後とも持続可能な活動を維持していく事が、大切になります。新たな会員も参加していただいて、アクティブシニアの居場所作りに努め、共に生きる仲間たちと協動作業通じて、活動を進め、自らの健康寿命に少しでも役に立てればとの思いです。

### 3、地区のあゆみ ②中ブロック

#### ②SA 守口「みつわ」

「みつわ」は心の和 組織の和 地域の環 です。初代会長の藤井信治郎氏の発案で会員一同とっても気にいっています。通称「みつわ」

設立 平成22年4月 会員数 9名 定例会 毎月第3（木曜日）年会費1200円 設立15年余りの若い会です。地域の世代間交流、福祉ボランティア活動、そして 会員相互の親睦 情報交換並びに ボランティア資源の習得を目的とする。

伝承玩具おもちゃ 手工芸品等の習得により、高齢者施設 各種学校イベント等に参加。特に高齢者施設では色彩のはっきりした綺麗なもの ブローチ 折り紙 ストラップなど、装飾品的なものが好まれているようです。 旭区民まつり 守口市民まつり等のイベントには沢山の子どもたちが集まり 父兄たちも興味津々で楽しんでいる様子 又 認知症カフェ「パイン」（はーとぴあ内）、「デイセンターリハビリプラザ守口」（高齢者施設）での活動もしています。今後は「出来る時に 出来る事を 出来るだけ多く」を目標に活動を広げていくことが課題です。



#### ④ SA 四條畷

SA 四條畷は、福永正二会長が平成18年に立ち上げ今日に至っている。

しかしながら残念なことにSA 四條畷は令和5年に再出発となりました。

現在会員7名と少人数ですが平成20年度会長だった高林光睦氏（元連協の役員）は現在副会長として今もご指導いただいています。コロナ以来小学校2校のおもちゃ作りでの参加は無くなりました。でも一人だけのおもちゃ作り参加は毎年数か所へ参加致しております。大阪府SA連協の毎年11月3日開催の寝屋川公園フェスティバルには、SA 四條畷全員参加出来るおもちゃ作りが楽しめる一つです。今の会員数では無理をしない、SA 四條畷の継続を第一に考えて楽しく過ごしております。令和6年度SA 四條畷は初めてのミニ講演『源氏物語へのお誘い』を、講師田中暁子氏 SA 交野会長で行いました。7年度はSA 四條畷の会員、熱田明子氏がボランティア活動体験『日常の食生活』健康的な食習慣ミニ講演を致します。栄養士、食育アドバイザーとして活躍なさった方です。



### 3、地区のあゆみ ②中ブロック

#### ⑤ SA ひらかた

北河内7市（枚方・交野・四條畷・大東・寝屋川・門真・守口）の各会員が地区広範囲の活動が困難になったため各行政区単位の活動にするために西暦2005年（平成17年）4月にSA ひらかたが設立されました。会員も高齢化が進み設立時の32名が増減を経て現在21名となりました。

2020年のコロナウイルス発生により自粛が続く老健施設やデイサービスセンター関係の活動は中止になったままです。また、自治会夏祭りや市内開催イベントは中止になったまま再開ができていない状態です。現在主な活動は運営を市教育委員会放課後子ども課より委託され土曜日に年21回開催の伊加賀小学校をはじめ4校「いきいき広場」の応援で21回計42回開催しています。他に市の福祉行事や多文化フェスティバル、地域の催しにおもちゃ作りで参加しています。

月1回の定例会後に「いきいき広場」で行うおもちゃ作りの研修を行い誰もが子どもたちに指導ができるように努めています。



#### ⑤SA 交野

主なあゆみ…平成16年4月、交野市在住のSA講座修了生により＜SA交野連絡会＞を設立。

①平成17年3月、多くの市民の方々と一緒に活動出来るように「玉手箱」と改名。①おもちゃ作り部門②ニュースポーツ部門③演芸部門活動として交野市ボランティアセンターに登録認定。

「玉手箱」は交野市で活躍し、市民の信頼が厚い。平成22年11月、大阪府知事表彰を受領する。

⑥平成29年4月から、「日本語プラザ」や「サイエンスカフェ交野」等の活動も紹介している。

◎令和2年新型コロナウイルス感染症2類指定発令→令和5年新型コロナウイルスが5類感染症に移行。

「玉手箱」は今年2月に設立20年目を迎えた。

コロナ禍の後遺症も徐々に和らぎ従来通りのボランティア活動に。「手作りおもちゃ活動」をいきいきランド交野で月1回、他の会場でも数回実施。

「ニュースポーツ普及活動」を定期的に体育施設で月1回依頼先の学校や施設でも数回実施。

今後共楽しみながら、仲間達と和気藹藹とボランティア活動を元気で続けていきたいと思ひます。



「日本語プラザ教室」風景



「プログラミング体験」大学教授と実験

### 3、地区のあゆみ ②中ブロック

#### ⑥SA 八尾・柏原

①足跡：平成15年4月に10名で再スタートした。

その後会員は増加し平成21年には28名となるが、現在は12名となっている。

- ・平成20年「第1回ふれあいフェスタ」開催。名称を「ふれあいまつり」と変更し、毎年秋に継続し実施していて、今年度は、第17回となっている。
- ・平成25年4月名称変更し「大阪府シルバーアドバイザー八尾・柏原」となる。
- ・令和元年12月、厚生労働大臣表彰を受ける。

②モットー：仲間と一緒に 助け合い 無理をしないで 楽しく活動

③活動の特徴：メンバーが持っている色々な活動を、ボランティアに活かし、会員がお互いに助け合い支え合っている。そのために、少人数のメンバーではあるが、多種多様なボランティア活動が実施出来ている。更に、その活動を知って、昨年度2名の会員入会があった。この動は、外にも広がり、下記のようなグループや教室となり、活動が広がっている。

④具体的な活動：介護施設へ月1回定期訪問

- ・物作り（おもちゃ・小物・自然素材を使っの）
- ・バルーン・押し花・折り紙・スリーA
- ・マジック・ディスコン・将棋・おもしろ算数教室
- ・高齢クラブ支援・子育て支援

・押し花作品

・ペーパークラフト



⑤外に活動がどんどん広がっている状況

- ・マジック教室・おもしろ算数教室
- ・八尾ディスコン協会・柏原ディスコン協会
- ・将棋教室（活動は、昨年度年間333回実施）
- ・バルーン八尾等となっている。

残念なことに、コロナ禍以降施設で絵の活動がほとんどできていません。

#### ⑦SA 東大阪

①足跡

- ・平成5年29名で再スタート、平成13から5年久保会長。その後、市のボランティアセンター拠点に2団体に分散合併する歴史があり。

平成31年に中枢中核都市として必要の目的で再結成、現在は4名となっている。

②目標

- ・仲間と一緒に、中河内地区と連携して助けあいながら活動し、地域貢献する。

③活動の特徴：

- ・私達の特徴は、メンバーが色々なボランティア資源を持っていることです。地区内にある文化、歴史的な多様な活動があります。

④具体的な活動

- ・21年11月に開館20年をむかえる公益財団法人司馬遼太郎記念館ボランティア活動に
- ・（現在2人過去含む5人のべ30人）、②傾聴ボランティア活動2人 ③19年花園ラグビー場ワールドカップ ④大阪マラソン ⑤ATC子供イベント⑥支援学校清掃ボランティア、ゲーム教室ボランティア等の活動。

◆会員数は少ないが、助け合って活動を支えています

### 3、地区のあゆみ ③南ブロック

#### ①SA はびきの

平成 15 年 7 月 25 日発足以来 22 年にわたり大阪府 SA 連協の一員として活動している。会員相互の連携強化を図り、地域でのボランティア活動を積極的に推進し、地域福祉の発展、向上に寄与することを目的としている。

- ①毎月一回定例会議を市役所別館 2 階にて行う。
- ②歌体操、おもちゃ、絵手紙、ディスコンの各同好会あり、市民への参加、研修を行う。
- ③各施設、小学校などへ出前研修をする。現在 5 人で活躍している。会員の新規加入者を大いに歓迎します。



#### ②SA 河内長野

- ①活動：期間中「コロナ」により活動は停滞だが、実施。
  - ・歌体操教室、公民館 2 か所（A 室 B 室で実施）
  - ・おもちゃ教室（公民館と校内の子ども教室/放課後の部屋で実施）
- ②行事：SA 南河内地区での 歌体操交流と 手作りおもちゃ交流を 当番地区担当として実施又 連協理事会に随時出席



### 「ATC 親と子どものおもちゃ教室」



運営スタッフ＝会場設営

- ・1 F 集客ビラ配り
- ・6 F 会場前呼び込み
- ・各コーナーに案内

#### ATC「親と子どものおもちゃ教室」スナップ



2023/10/28 親子おもちゃ教室 スタッフ

### 3、地区のあゆみ ③南ブロック

#### ① SA 藤井寺のあゆみ

- ①2021 R3 年大阪府福祉基金申請コロナ禍で申請遅れる。  
「SA 藤井寺 2025 有り方」検討アンケート調査、高齢化自然減検討。
- ②2022 R4 年 北御堂「わくわくキッズ北御堂参加」  
大阪市勝山小学校「昔遊び体験講座区民カレッジ主催」に出前参加。  
SA 藤井寺役員会オンラインミーティング開始。  
「SA 藤井寺 2025 有り方委員会」発足。
- ③2023(R5 年)手づくりロボット研修会コラボ (SA 藤井寺・母子寡婦福祉会) の共催。  
SA 藤井寺のあゆみ研修懇談会開催・大阪府民カレッジ藤井寺校開校企画も松原校で開校。  
大阪市中大江小学校「昔遊び体験講座区民カレッジ主催」出前参加  
大阪市玉造小学校「昔遊び体験講座区民カレッジ主催」出前参加  
「大阪マラソン」コロナ禍後、再開。
- ④2024 R6 SA 藤井寺 20 周年記念式典開催、  
南ブロック「おもちゃ交流会」開催、藤井寺主催。  
ATC「親子おもちゃ教室」参加・大阪府武術太極拳フェスティバル出場。  
手づくりおもちゃ西海教室開校。大阪府市町村ボラ連研修交流会参加 (藤井寺代表)
- ⑤2025 (R7 年) ウクライナ避難民支援・藤井寺松永白洲記念館日本文化研修会開催。  
「2024 年度総会」開催



厚生労働大臣表彰状

#### ① 堺 SA のあゆみ

- ①地元社会への貢献として、歌体操部会・おもちゃ部会・折紙部会を平成元年 8 月 1 日に設立。  
平成 11 年 11 月に堺市社会福祉協議会にボランティア会員登録を果たしました。  
これより、安定して、福祉会館館内施設は使用可能になり、活動の推進に弾みがつく事になりました。
- ②平成 12 年 4 月総会において、会の名称を「大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会泉北支部」  
から「堺シルバーアドバイザー連絡協議会 (略称堺 S A)」に改称。
- ③平成 29 年に「堺 S A」に改称  
現在、堺市内のイベント・小学校での世代間交流・保育園行事支援こども園行事支援 (夏まつり・納涼祭)・福祉施設等に歌体操・おもちゃ・折り紙作りに参加して交流を深めています。  
現在会員は 30 名。



### 3、地区のあゆみ ③南ブロック

#### ⑤いずみSAのあゆみ

発足、大阪府 SA 養成講座 17 期生(南部講座 1 期生)講座の中での地域交流活動 SA 泉州グループメンバー(和泉市 10 名・泉大津市 3 名)で修了後活動として新規に「いずみシルバーアドバイザー連絡協議会」を平成 17 年 5 月 26 日に設立しました。 会員 18 名でスタート。

#### ①活動テーマ

「ボランティア活動を通じて、すべての人々が安心して暮らせる地域社会を目指して」

#### ②活動指針

- ・心と心のふれあいコミュニケーションを繋ぐ
- ・楽しくゆっくり無理をしない合言葉
- ・個人のスキルをツールに社会貢献(ボランティア活動)を目指す。

#### ③主な活動

・子ども科学実験教室&ものづくり・バルーンアート教室、折り染め体験教室、いずみ福祉祭り。

#### ※参加

- ・おもちゃ作り教室を通じて介護施設・小学校等・いずみ福祉まつりイベント参加
- ・いきいき歌体操を通じて、介護施設等の訪問&イベント参加・いずみ市民祭り参加
- ・その他 要請に応じて参加

#### ④今後の課題・活動

地域の老若男女問わず皆さんとコミュニケーションがとれる組織にし、気軽に一人でも参  
できる企画をしたい。そして独りでも会員を増やしたいと思います。



#### 各ブロック交流会



## 4 団体のあゆみ（広域）

### ① SA ネット大阪

団体のあゆみ（NPO 法人 SA・ネット大阪の歩み）

設立からの 10 年 2006 年～2015 年

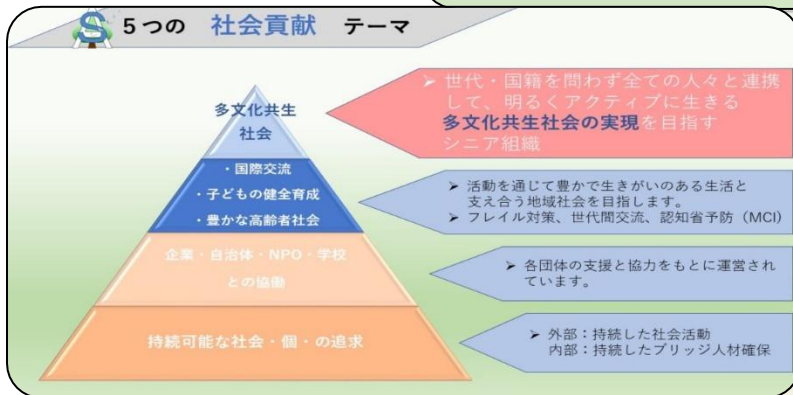
2004 年 1 月 SA 連協内で「NPO 法人化の課題について」の勉強会を開催。SA 連協の法人化を模索したが断念、その後、有志で設立準備委員会を立ち上げ、2 年の検討期間をへて 2006 年に SA 連協理事会で「NPO 法人 SA ネット大阪」の立ち上げ承認を貰い、設立に至りました。

当初は大阪府の受託事業を行う「介護福祉事業部」、SA 連協から移管を受けた「おもしろ算数教室事業部」、「国際交流事業部」、「伝承おもちゃづくり事業部」の 4 事業部で活動した。

初代理事長の故久保昌之氏が 2009 年までの草創期を永田得祐氏が 2011 年までの変革期を、その後の 5 年を三田進一氏が法人を引っ張られた。

その後の 10 年（2016 年～2025 年）大阪府の受託事業が終了し「介護福祉事業部」は解散し、活動は 3 事業部となりました。理事長は故武内憲信氏が 4 年、それ以降を村松秀明が務めております。

法人にとっての大きな試練となったコロナの期間を挟んで、おもちゃ学校大阪校の開校、国際交流活動としてオンラインでのミャンマー・トルコの若者世代との交流活動、大阪大学留学生のホストファミリー活動、ウクライナ難民支援、万博共創チャレンジ活動の「幸せの星」活動等に取り組んでおります。



### 2025・SA・ネット大阪理事



## 4 団体のあゆみ（広域）

### ② SAハーモニー、シー

#### 団体のあゆみ（SA 国際ハーモニー、シー合唱団）

ハーモニー、シーは府SA講座18期の修了生が中心となって2006年に設立。歌を通じて国際交流をという目的の下、オーストラリア・中国・モンゴルなどに  
出向き現地のの人たちと交流を重ねて来ました。

2017年まで続いた「アクティブシニアフェスタ」にも、毎年出演するかたわらコロナ禍までは毎月、各種老人施設でのボランティア活動も行ってきました。

コロナ禍以降は未だ施設訪問は叶いませんが月一回の練習と年数回の発表の場で楽しく歌っています。



### ③ SA似顔絵

#### ①団体あゆみ

- ・2023年3月コーダイ似顔絵科の卒業生7名で立ち上げ、現在11名です。
- ・主な活動は、
  - ①老人・身障者施設、子供フェスタ、ボランティアフェスティバル等での対面似顔絵
  - ②喫茶店での似顔絵展示会
  - ③月例会では有名人似顔絵の披露等。

#### ②会員の声

- ・私たちの合言葉は「スマイル」で、似顔絵を描くことによって笑顔をもらい、笑顔を繋げていくことです：笹本
- ・高大で似顔絵に出会いSAで実際に描くことが多く楽しいです：八尾
- ・個人活動+SA活動でコーダイ卒業後もさらに充実！：イッコちゃん
- ・老若男女の似顔絵おもしろい ポケないために 描きます：村主
- ・高大の学びをいかし、仲間とつくるは似顔絵の輪：清水
- ・「描かれてうれしい」似顔絵を追及して日々努力：上ノ原
- ・皆様に喜ばれる似顔絵を目指して描きます！：小松
- ・似顔絵でもらった笑顔が励みです。仲間とともに日々精進：S.T
- ・子供と描き方を指導しながら、描きあえる場を持つのが夢です：北本
- ・似顔絵に出会って健康寿命が確実に10年は伸びました：和仁古
- ・似顔絵の出会いは高大。ほっこりした気分になれ今も続けています：福田



## 4、団体のあゆみ（広域）

### ④SA 富田林きらり（2025年4月入会）

#### 地区のあゆみ

2025年2月頃に 府民カレッジ富田林の仲間から SA の立ち上げを望む声があがり

1、社会貢献をする 2、自分を磨く、をスローガンとして立上げ会員を募集したところ 20 名程の賛同者が集まった。

#### ㊸社会貢献をするための活動

活動日は府民カレッジのない、空いている金曜日として月に 2 回を活動日にした。

第 1 金曜日 定例全体会議と社会貢献の為の準備活動として ①ダンスエクササイズ ②おもちゃづくり ③歌体操他

#### ㊹自分を磨くための活動

第 2 金曜日 自分を磨く為の活動。

①クラフト・手芸 ②民謡 ③ネイチャー（自然と遊ぶ） ④健康麻雀

全員で協議した計画で「自分を磨く」為の活動は 6 ヶ月で見直し継続かどうかを決めるそれぞれ全員が得意な物や、やってみたい事でリーダーとなり、自主的に運営している。

リーダーになった仲間や、初めての事に真剣に取り組む仲間など和気あいあいとした雰囲気の中で活動中は笑顔が絶えない。わあ～楽しい、可愛い、なつかしい、など感嘆の声が聞こえる。新しい事に挑戦したり、自分の得意な事を、伝えたり生き生きした時間がながれている。まだ立ち上げて数ヶ月です。このイキイキとした時間を継続するための工夫を今後も続けていく所存です。



## SA ネット大阪 おもちゃ学校（大阪校）

子ども工作教室指導者養成学校  
**おもちゃ学校**  
令和 7 年度  
2025年 4月 8日 開校 受講生募集  
子供が大好きな  
あなた  
時間に余裕のできた  
あなた

2025年 4月 8日 開校 無 2 小曜日（毎月 2 回）  
4月 5、12、6、19、7月 7、27（祝日休校）9月 10、17  
教 室 大阪府社会福祉館 大阪市中央区白旗丁 7番4-15 5階会議室  
大阪メトロ白旗駅より徒歩 4 分（徒歩 20 分）

主 催 NPO 法人 シルバードバイザー ネット大阪  
NPO 法人 SA 子ども活動部  
認定 NPO 法人 大阪府福祉大学  
NPO 法人 大阪府福祉大学  
NPO 法人 大阪府福祉大学  
NPO 法人 大阪府福祉大学



- 工作概況
- 工作実技（1-2）
- クラスミーティング



## 5 部門別沿革

渉外部 松木 健一

### ①渉外部

渉外部はシルバーアドバイザー連絡協議会の対外的な窓口としての役割を担うことをモットーとし進めてまいりました。

- ① 行政機関との関係 ・大阪府高齢者介護室
- ② 認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校
- ③ NPO 法人大阪区民カレッジ
- ④ NPO 法人大阪府民カレッジ
- ⑤ 認定 NPO 法人北部コミュニティーカレッジ
- ⑥ 大阪マラソンの参加推進



今後とも上記団体とは親密な関係を維持して高齢者の健康・活躍の居場所づくりに寄与していき、②・③・④・⑤カレッジ等

修了後の受け皿として、認知される団体になれるよう努めてまいります。

### 1) 健康管理部会

部会長 笠原 俊生

健康管理部会は2018（H30）年に府SA連協に参画して7年になります。

活動目的は、少子高齢化が進行している状況で「健康寿命をのばす」に注目し、特に「フレイル予防の啓発」を活動目標としております。「フレイル予防講座」を通じて、健康寿命を延ばす予防啓発をしたいという想いで、発足してから大阪府民カレッジ（12）・区民カレッジ（30）・ONCC（13）・任意団体（33）を通じて延べ88回の「フレイル予防講座」を開催してきました。

参考までに、令和4年現在の日本の健康寿命は、男性72.57、女性75.45です。因みに大阪府の健康寿命は、男性71.88（全国41位）、女性74.78（全国40位）となっております。

健康日本21（第3次）の目標は「平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加」になっています。現在では、主に府民・区民カレッジの「年度の講座カリキュラム」に導入していただくようになりました。引き続きご協力を得て、SA活動内容の紹介とフレイル予防啓発講座として導入定着できるように努力精進したいと思います。また、健康イベントとしては、豊中市民健康展には延7回出展しフレイル予防啓発を行なっております。併せて「早寝早起き朝ごはん」全国協議会に推進会員として登録して、子ども向けに生活リズムを整える啓発活動も始めました。社会参加活動の一環として、大阪マラソンボランティア活動にも参加しております。

今後とも「元気で長生き」を合言葉に健康増進の啓発活動及び社会貢献活動を積極的に展開して健康増進活動に取り組んでゆく所存であります。

### 2) 国際交流部会

部会長 手塚 之博

現在活動を行なっているのはSAネット大阪、SA吹田。大阪府在住の留学生との交流活動を通しての多文化交流活動、海外で日本語を学ぶ若者達とのオンライン交流活動等、日本語での交流活動を進めていく等の諸活動を各地SAに広めたいと考えているがまだ緒にはついていない。最近ではSAネット大阪の「ウクライナ難民支援活動」で様々な取組みがなされており各地区SAの参加も呼びかけられている。



## 5 部門別 沿革

交流活動部 上山 乃婦子

### ②交流活動部

交流活動部は平成27年度企画委員会より改めて、歌体操部会・おもちゃ部会の2部会構成で活動を運営している。交流活動部としては1回/2か月定例会議を実施し、歌体操部会は毎月一回、おもちゃ部会は1回/2か月定例会と研修会を実施し技術の向上を図っている。そして年1回各々のブロック（北、中、南）で交流会を実施している。又、全体のイベントとして「府SA連協歌体操フェスタ」を年1回3月に実施している。おもちゃ部会は「ATC親子おもちゃ教室」「船場祭り」などに積極的に参加している。

#### 1) 歌体操部会

部会長 藤川 安高

山田のSAの講座を受け、SA吹田に入会後、歌体操先輩にご指導をしていただきました。その当時はかなりの歌体操グループが活動されていきました。平成25年ごろからSA連協の歌体操部会を新しい形で継続することになり部会の長として、活動することとなりました。新型コロナウイルスが発生の前の年に一度、後任に譲りましたが、令和4年から前任の役を引き継いで現在に至っています。部会員の親睦を図りながら実技の研修を大阪府の大和川以南の南ブロック、大和川と淀川の間、中ブロック、淀川以北の北ブロックで歌体操ブロック交流研修会を各ブロックが年一回を楽しみながら始めました。各ブロック地域の人に知ってもらい歌体操会員を増やす目的もありました。その集大成で歌体操フェスタを毎年3月に開催するようしています。早い動作もありますが童謡、唱歌、流行歌などゆっくりした動作も皆さんに喜んでもらっています。

SA連協も創立35周年と年数も過ぎてきましたが会員さんはボランティアに活躍されています。長い人生まだまだ続きます。フレイル予防のためにも皆さんが歌体操で身体を十分に伸ばし、元気に未来へ進んでいけることを願うばかりです。

#### 2) おもちゃ部会

部会長(兼) 上山 乃婦子

現在の部会は ネット大阪「おもちゃ教室」から分枝したものです、教室は技術が高度化し過ぎ、初心者でもついていける場所が欲しいとの声があり平成16年4月に連協「初級おもちゃ部会」が企画委員長中川明子氏 部長森田展生氏にて発足、現在の交流活動部「おもちゃ部会」となりました。開催：偶数月1回 13；30－16；00 会費1回 200円 会場 未定（コロナウイルス感染の為 令和2年11月現在）SA会員である事。部会活動を通じて各地区の活性化を助成。会員相互の親睦 情報交換 講師の養成。ブロックごとにおもちゃ交流会研修会を実施、又各種イベントに参加し幅広い活動を目指す。

#### ATC おもちゃ教室 2024

#### SA 連協歌体操フェスタ 2025



## 5 部門別 沿革

広報部 大川 正彦

### ③広報部 「2020～2025年」

①活動目的 1. 府SA連協と地区SAの架け橋となる広報活動を目指す。 2. 地域でのSA活動の知名度（認知度）の向上を目指す。 3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。 4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。 5 「新SAありかた委員会」広報部取り組み課題を推進する。

### ②広報部 活動「新SAあり方委員会」（広報プロジェクト発足）参加 2021.8

- ・広報グループ、渉外グループ、交流活動グループ、オンライン(ZOOM 会議)で連携活動行う。
- ・2025.4「35周年プロジェクト」(35周年記念誌) 参画

※歴代広報部長、森、大川、前田、石川、上山、織田、松本、大川

#### 1) 広報誌部会 活動

- ・2020年 シルバー通信(1年の取り組み、計画) 発刊・府SA連協3パンフレット更新
- ・2021年「旧SAあり方委員会検証会」発足メンバー和佐、木場、小川、村松、大川
- ・2022年「新SAあり方委員会」プロジェクトスタート・渉外活動G・交流活動G・広報活動
  - ・高大機関紙(れいんぼ-)投稿(年3回発行)、シルバー通信51号作成
  - ・対外行事=高大関連、ONCC関連、校友会関連、会員募集コロナ禍で総て中止。
- ・2023年「新SAあり方委員会」プロジェクトの積み残し課題を整理推進
  - ・有償ボランティア(厚労省個人歓迎)ポイント制度引き続き推進
  - ・高大内3F、常設新パンフレットスタンドのメンテを当番制で維持し、受講生向けのSA連協パンフレットや地区SAのチラシを広報配布
- ・2024年 府SA連協R5年版作成
- ・2025年 コーダイフェスタ(15周年)展示コーナー出展(府SA連、NPO-SAネット大阪)。

※歴代部会長 服部、石川、大川、松本、大川

#### 2) ブログ研究部会 活動

現在3~4人では運営難しく現在休会中、

- ・2020年 ブログ研究部会(部会員12名) 前田
- ・2021年 ブログ研究部会(部会員8名) 松本
- ・2022年 ブログ研究部会(部会員6名) 大川
- ・2023年 ブログ研究部会(部会員5名) 島野
- ・2024年 ブログ研究部会(部会員3名) 大橋
- ・2025年 5年間の人材育成。実態調査、各地区のブログ要員

※歴代部会長 前田、織田、松本、大川、島野、大橋、大川、

#### 3) ホームページ 活動

府SA連協の情報の交差点としてのホームページを目指し、ホームページの企画維持管理に、努める。

- ・2020年 ホームページ(部会員15名) 森
- ・2021年 ホームページ(部会員15名) 森
- ・2022年 地区ホームページコーナー・更新11地区フォーマット作成 推進・更新15地区
- ・2023年 ホームページをブログに(部会員12名) 森
- ・2024年 ホームページ・ブログ研究部会・
- ・2025年新ホームページ推進 和仁古 ※歴代部長= 歴代理事長、歴代部長

## 6、ボランティア施設の声 ①北ブロック

### ① SA 吹田

#### ・高齢者施設歌体操ボランティア活動

2025年7月2日(水)亥子谷コミュニティセンター

多目的ホールにて、アトラクションで歌体操を体験しました。

参加者は高齢者48人スタッフ10人でした。

内容は懐かしい歌謡曲に合わせて歌、深呼吸、手指、上半身と下半身を使って楽しく運動する事が出来て良かったです。

特に六甲おろし・ありがとうの歌の曲が気持ちよく動かしました。

歌体操を通して、いきがいのある日々を過ごせるようにとの精神に共感しました。

お願いして良かったです。有難うございました。

\* 山田第三地区福祉委員 山野みどり



#### ・府民カレッジでの「国際交流紹介授業」

昨年、吹田校で、SA 吹田で実施されている国際交流活動を

紹介していただき新設された茨木校でもカリキュラムに取り

入れました。当日はミャンマーとアルゼンチンからの留学生2名が

参加してくれました。受講生も外国人が日本語で丁寧に説明して

くれるのでとても集中して聞いていました。とても好6評だったので次年度もカリキュラムに入れていきます。

\* 大阪府民カレッジ 茨木校ディレクター波多野富美子



### ② SA 茨木

シルバーアドバイザー茨木の皆さん、SA 連絡協議会設立 35 周年を迎えられ、本当におめでとうございます！皆さんの知識と経験を活かした長年にわたる地域での活動に心から感謝いたします。市内福祉施設や地域での集いの場で、歌体操やおもちゃ作りに触れた皆さんからは、「元気になった」「また来て欲しい」と喜びの声を頂いておりますので、これからもよろしく願います。皆さまの益々のご健康とご活躍をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

\* 茨木市社会福祉協議会ボランティアセンター福永佳介

・特養老人ホーム「はっぴーらいふ茨木」＝毎月来ていただき、利用者にとっていつもと違う刺激となっています。又、懐かしい歌や季節に合わせた歌をご用意して下さることでリハビリにも繋がっています。歌の中で手足を動かすので、普段より協力的で歌体操を実施中は特に笑顔であふれています。職員共々楽しませていただいております。

\* 「はっぴーらいふ茨木」

・畑田小学校放課後子ども教室に、年2回、手作りおもちゃの教室に来て指導していただき、早や8年になります。子ども教室の子どもたちは、毎回楽しみにしていて、次回の開催を心待ちにしています。その作品を地区の公民館の文化展に出品して、皆さんに見ていただいています。子どもたちが自分の制作した作品を親御さんに誇らしげに見せている姿に、ほっこりさせられます。これからもご指導よろしく願います。

\* 茨木市立畑田小学校放課後子ども教室 中村康恵



## 6、ボランティア施設の声 ①北ブロック

### ③高槻市立五百住小学校

本校児童の工作授業に、長年、ご尽力いただきありがとうございます、本校では、SA 高槻の皆様のお力により、子どもたちに「ものづくりの楽しさ」を伝えることに取り組んでまいりました。子どもたちは、出来上がった工作を友達と見せ合ったり、お家の人に嬉しそうに話したりしています。先日、本校卒業生が来校し、小学校時代の思い出を語っていたとき、この工作教室のことを話しておりました。

「家だと、一人で、工作なんてやらなかったけど、工作教室で、地域の方にやさしく教えてもらったのは今でも覚えています」これが、その卒業生の言葉です。10年ほどの長きにわたる皆様の活動は、本校の歴史に、しっかりと刻まれていると改めて実感しました。これからも、本校での工作教室を続けて、いただければ幸いです。末筆になりましたが、SA 高槻の皆様のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。



(教職員一同)

## 6 ボランティア施設の声 ②中ブロック

### ①大阪市 SA

毎年8月の夏休み子ども科学教室や、おり染作り、また12月のディスコン大会で子どもたちとのふれあいで楽しい有意義な機会を設けて頂いて感謝しています。「中央区中大江小学校いきいき教室」

- ・毎年8月の夏休み子ども科学教室や、毎月のおもちゃ手作り教室を継続して頂き毎回子どもたちも多く参加して楽しみにしています。「中央区玉造小学校いきいき教室」
- ・大阪市SAハーモニカクラブの皆様にご2か月に1度お越しいただいております。

懐メロや唱歌などを中心に、ご演奏いただき、ハーモニカ演奏に合わせて皆さんも一緒に合唱し、楽しいひと時を過ごさせていただいております。演奏の間にはラジオ体操や口腔体操などのプログラムもあり、皆さんで体を動かせるリフレッシュの時間も考えて下さっています。

ハーモニカの美しく懐かしい音色は皆さんや職員も毎回癒しをいただいております。いつもありがとうございます！社会福祉法人健成会 『デイサービスセンターしらなみ』



## 6、ボランティア施設の声 ②中ブロック

### ②SA 守口「みつわ」

松下介護老人保健施設 はーとぴあ

皆さまのボランティア精神にいつも感謝しております。季節に応じた作品やお孫さんとも遊べる作品、昔懐かしい作品など、高齢者が楽しめる作品を毎回提供頂いております。上手くできない方にも解りやすく教えて下さるので、自然と興味を持ち集中して取り組むことができます。また、ご利用日でない方にも作品作りを楽しめるよう、私たち職員に伝授頂けるので、苦戦しながらも利用者と楽しい時間を過ごす事ができています。

グリーンライフ守口 「おもしろ・なんでも教室」

ボランティア永年活動おめでとうございます。当ホームでも活動して頂き楽しく過ごすことができました。今は人との触れ合いが大事な時ですね これからも頑張ってください。

エイジフリー・ライフ大和田・「赤十字ビューティーケア」

お顔のマッサージをし、口紅を差すと表情が明るくなる。声なき声に寄り添って頂く事で心の温かみが湧いて出るひと時を、多くの方に感じていただきたいと思います。また、20年に亘る活動と、つながりに心より感謝いたします



### ③ SA 交野

①いきいきランド交野（交野市立総合体育施設）

「玉手箱」では、交野市教育委員会の依頼により、毎月第2土曜日に市立体育館ロビーで子ども達と「おもちゃ作り」を楽しんでいます。コロナ禍期間を除いて20年間休みなく続けており毎月来る団体の参加者もいます。1月の「凧作り」は人気のあるメニューで、中央広場で毎年賑やかな凧あげ風景が見られます。新型コロナウイルスが5類感染症に移行してからは、段々と元通りの「おもちゃ作り」風景に戻って来ています。

昨年12月1日(日)青年の家で開催された「第23回北河内識字・日本語交流会」では「玉手箱」が主催者の依頼により「折り紙体験…2種」を指導致しました。（「玉手箱」河野 良）

②NPO 交野市国際交流協会（交野会館）

NPO 交野市国際交流協会 語学研修推進委員会では「日本語プラザ教室」を開講し、ボランティア講師により近隣に住む外国人に日本語を教えて貰っています。学習形態は、基本的には「マンツーマン形式」です。「日本語プラザ教室」では教室内での学習だけではなく、年数回「日帰り旅行・社会見学」なども行い広く日本を知って貰っています。学習者が母国に帰り、その国で活躍されている様子をお聞きすると嬉しく思います。益々のご活躍を期待致します。

12月1日(日)に開催された「北河内識字・日本語交流会」では、「日本語プラザ」の崔 恒述さんが、日本語で上手に「司会」をされましたので感動致しました。（理事長：横溝 博）

◎交野活動\*「いきいきランド交野(交野市立総合体育施設)」\*「いきいきランド交野(交野市立総合体育施設)」



「玉手箱」の手づくりおもちゃ風景

「日本語プラザ教室」風景

## 6、ボランティア施設の声 ②中ブロック

### ④ SA 四條畷

#### 四條畷社会福祉協議会

SA 四條畷は平成 16 年 11 月に大阪府シルバーアドバイザー養成講座 (NPO 大阪府高齢者大学校) で学んだ四條畷市在住の 4 人で旗揚げをされ、地域主催の多数のイベントで「おもちゃ作り」などを開催し、長年地域に貢献されてこられました。

ここ数年はコロナ禍もあって、イベント等への参画が減少されていましたが、令和 7 年度から四條畷市放課後こども教室で活動を再開されておられ、今後のますますのご活躍を期待しています！



### ⑤ SA 八尾・柏原

～ホーム太子堂 (デイサービス・特別養護老人ホーム) より～

いつもボランティア活動いただきありがとうございます。  
ボランティアと利用者という関係でなく、知り合いづくり、仲間づくりといった、地域の住民同士の関わり合いをして頂いています。

このことは、“利用者”にとっては、ひとりの地域の住民として扱われていることになります。“利用者”ではなく、“地域住民”として、あたりまえの生活を支えて頂いています。

ぜひ引き続き、得意なこと、趣味、やりたいことなど、生かしてください。

\*ホーム太子堂 高田 敏和



## 6、ボランティア施設の声 ②南ブロック

### ① SA 藤井寺

#### 「どうみょうじ 高殿苑」

この度は35周年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。

いつも、お手玉サークル「遊」・リフレッシュ体操のボランティアの皆様には、ご入居者との交流を通して、大変有意義な時間を提供していただき、職員一同、感謝申し上げます。

ここ数年、コロナの影響で様々な制限のもと行っていた活動も、最近では、人と人が触れ合いながら楽しめるようになりました。懐かしいお手玉や、歌に合わせて行う体操をみんなで一緒に楽しめる時間は、「どうみょうじ高殿苑」で生活しているご入居者にとって、心も体もリフレッシュできる、かけがえのない時間となっているのではないかと思います。

これからも、お体には気をつけていただきながら、ボランティア活動や発表会など、様々な場所でのご活躍を心より祈念申し上げます。

#### \*どうみょうじ 高殿苑 職員一同

※邦寿会「どうみょうじ高殿園」様は、お手玉サークル「遊」・リフレッシュ体操グループが訪問しています。訪問時は何かとお気遣いいただきありがとうございます(ボランティア保険等)今後もよろしく願いいたします。

・邦寿会「どうみょうじ高殿園」様は、サントリーグループが支援する社会福祉法人です。

SA藤井寺 吉留 夏樹



### ② SA 堺

#### ⑥社会福祉法人コスモス 麦の子保育園

麦の子保育園では6月に「よっといでまつり」・11月に「むぎむぎまつり」があります。年2回、このまつりで、「手作りおもちゃコーナー」を設け、保育園の子どもたちだけでなく、地域のこどもたちにも「良い文化を伝えたい、手作りおもちゃを作って遊ぶ楽しさを伝えたい」とシルバーアドバイザーの方には力を頂いています。既製品のおもちゃやゲームがたくさんある中で、自分で作る楽しさを伝えて頂いています。短い時間ではあるもの子どもたちは楽しんで、保護者の方もその姿を温かく見守っておられる姿は職員も嬉しい限りです。いつも感謝しています。

\*園長 佐々木 恵美

#### ⑥社会福祉法人 堺ひかり会 とみなみこども園

とみなみこども園では、子どもたちや保護者が集う“夏まつり”を毎年開催しています。色々な遊びのコーナーを設けて楽しむのですが、その中でも大変人気なのが、ボランティアの皆様による「手作りコーナー」です。工夫が詰まった手作りのおもちゃにふれていると、子どもたちも保護者の皆様も心が温かくなり笑みがこぼれます。子どもたち一人一人に、優しく話しかけて下さるおかげでとても心地良い時間を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。「いつも本当にありがとうございます」

\*園長 海老 澄代

## 6、ボランティア施設の声 ③南ブロック

### ③ いずみ SA

①榎塚荘/逆瀬川デイケアサービスセンター

統括生活相談員 島木 真由美

毎月のボランティア活動ありがとうございます。この度、シルバーアドバイザーとして地域貢献され35周年という節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。長きにわたり、変わらぬご支援と温かいお心を私たち施設に届けて下さり、ありがとうございます。日々の笑顔、優しい声掛け、さりげない心配り、利用者様はもちろんのこと職員までが元気を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。皆様と過ごせる時間を毎回楽しみにしています。これからも末永く、温かいご縁が続きますように、今後ともよろしくお願い致します。

②和泉市青少年センター=子ども科学教室

\*高齢者大学校講師 高松真津子

市内小学校の子供たち「今度はいつ？楽しみに待っているね！おもちゃ作りも楽しいよ！」

③エデンデイサービス

\*相談員 緒方 しのぶ

SA発足35周年 おめでとうございます。シルバーアドバイザーの皆様には、2022年5月から「歌体操」にお越し頂いています。毎月第2月曜午後は、フロアに歌声が響き利用者さんの笑顔が輝き、懐かしい歌を歌うたびにそれぞれの思い出を語り合う利用者さんの表情は若かりし頃の乙女のように見えます。「心が動けば、体も動く」と言われるように、きっとこの日は心身共に充実し、夜もぐっすり眠っておられるに違いありません。満足度は100%それは利用者さんの笑顔です、そして私たちスタッフもリフレッシュさせて頂いていることを加えておきます。ありがとうございます。今後更なるご活躍をお祈りしています。



## 第13回・歌体操フェスタ2024



## 7、ボランティア会員の声 ①北ブロック

### ① SA 吹田

昔の老大有りしてすぐにおもちゃ作りの活動で SA 連協と関り 30 年ほど経ちました。面白がっておもちゃ作りをしているうちにあっという間に時間が経ちました。

30 年近くも、おもちゃを子どもたちと共に作って来たのかと感慨深く思います。

SA 吹田や SA 連協があつて活動できたのだと今更ながら思います。

おもちゃ作りも組織活動ですから 30 年も継続して活動が続いているのは、その間いろいろと課題を克服しながら、いろいろな事に挑戦して継続が出来ているのかと思います。

今後、10年 20 年続けていくためには、組織を活性化して新しいことに取り組む事が肝要かと思ひます。これから、SA 吹田も SA 連協も末永く活性化して続くことを切望しております。

(小川 忠夫)

### ②SA 茨木

SA 連絡協議会 創立 35 周年を迎え、誠におめでとうございます。

私は SA 茨木に入会して 10 年が過ぎ、ある程度古株になって来ました。5 年前にコロナ禍になり、それまで歌体操の活動も毎月 40~50 件の依頼が有り、若かった事もあり遠くの施設まで訪問していたことを懐かしく思います。現在は、少しずつ依頼も回復し 20 件を超えるまでになりました。私は、利用者さんとの出会いと交流で元気をもらい、健康を保持出来ているのは、歌体操に出会えた事と感謝しています。これからも、利用者さんと共に楽しんでもらえるボランティア活動を続けて行けたらと、願っております。

(歌体操 綿谷 藤子)

SA 茨木おもちゃ研究会に入会し、早 10 年。初めのころは、どのようにしておもちゃを作っているのか分からず、先輩たちによく聞きました。その先輩たちもコロナ後は、ひとりもいません。おもちゃ教室の手配、連絡、おもちゃの準備、当日の打合せなど、多くを任されるようになりました。忙しくしておりますが、何より子どもたちの笑顔を大切にこれからも、頑張っていきます。

(おもちゃ 辻本 昌彦)

### ③SA 高槻

伝承玩具の創造性を核に世代間交流をめざす 3 期修了者が中心に生まれた「クラフト遊」50 余人、北・中・南に分かれ全府下で活動していた。私は平成 12 年修了、即、北ブロックに参加し府下様々な場所で仲間と活動、皆さん前向きで楽しい日々でした。平成 14 年「わいわいクラフト」を立上げ、米寿を過ぎた今も元気に活動しています。機械化が進み地道に作る喜びは遠くになっても「共に遊」の心は不滅です。

(宇津木 登代子：11 期)

人生 100 年時代と言われる昨今、健康で安らかに過ごす為、いわゆる「老いしまい」をする人が多くなる中、令和 2 年、有志が「シルバーサロン交流会」を立上げ、現在 15 名の会員が「終活」関連案件（介護・終末期と死・家/家族・相続・保険・墓/仏壇・葬儀）を中心に自由に話し合い学習する場を月 1 回設けています。この 3 月末で 33 回の交流会をもちました。一般市民の入会もあり、会員の知識・経験が増え、外部発信していけたらと思ひています。(島貫清司：18 期)

SA 高槻も他地区 SA と同様に高齢化が進み、会員の減少が続いていることが心配です。若い元気な会員の新規加入を祈るばかりです。私も細々ながらボランティアを続けていますが、今では自分自身の頭の衰え防止も、その目的の一部になってきました。続けられるところまで続ける積りです。

(立花 浩：15 期)

## 7、ボランティア会員の声 ②中ブロック

### ①大阪市 SA

- ①ここ数年メンバーの高齢化で毎年のように人数が減っていますが、ほぼ固定された顔ぶれでこぢんまりと且つ和気藹々と活動を続けています,興味のある方は覗きに来てください。  
(おもちゃ部 渡邊)
- ②毎月第二火曜日、AM10時から天神橋筋六丁目の本庄会館の2Fで練習しています。関心のある方は見学に来て下さい。2ヶ月に1回住之江区の介護施設に、演奏会の、出前参加しています。090-1220-7468まで連絡ください。  
(ハーモニカ部 森井)
- ③コロナ禍の3年乗り越えて会員の皆様と手をつなぎ、歌体操一筋に施設訪問ボランティア活動など、毎年活動を続けてきましたが、自身の体調不良で活動も参加できにくくなっておりま  
す。後継者の方が、引き続き活躍を願う次第です。  
(歌体操部 梶山)
- ④退職後、学んだバルーンアート作りで子供たちとのイベント参加で元気を頂いています。  
1年先の行事参加予定もあり、日々健康管理に挑戦しています。(北野)

### ② SA 守口「みつわ」

- ①施設訪問、イベント参加等の材料集め下準備など皆さんと一緒に、感謝し楽しく頑張っています。  
(島田道子)
- ②SA 守口には[知事表彰]という嬉しいご褒美を頂きました。  
(坂東章美)
- ③認知症カフェばいんとディセンタリーハビリプラザ守口の活動をしています。楽しく皆様とや  
っています。  
(福本桂子)
- ④月1回の研修会には会員の皆様が苦戦しながらも多彩な課題に、力一杯頑張っております。  
私もそれなりに楽しんで居ります。  
(村口房子)
- ⑤旭区民まつりに参加した時に子どもたちと一緒に竹とんぼを作って楽しかった。(石橋英子)
- ⑥イベントの準備を笑顔いっぱい楽しくさせて頂いています。  
(山下克美)
- ⑦施設訪問は、デイサービスに参加されている方々と会話をしながら楽しく作品を仕上げいき、  
出来上がった作品を見て喜んで頂けると私達も笑顔になります。日常生活において会話や笑い  
が如何に大切かを学びました。  
(村口初美)
- ⑧お祭りのワークショップに SA 守口の十八番の「八枚羽の風車」と「花の風車」を持って行く  
と必ず行列が出来て、一緒に作った子どもも、大人も目を輝かせて喜んで下さいます。参加し  
て下さる皆さんの笑顔がボランティアをする者の喜びだと感じます。  
(奥田まり子)

### ③ SA ひらかた

- ・子ども達とふれあい共におもちゃを作ることがとても楽しいです。外に出る機会ができ健康にとってもいいです。
- ・子ども達と一緒に学べる喜びに元気を頂き感謝です。
- ・SAの工作が生きがいになっています。
- ・第3の、青春しています。
- ・子どもの笑顔に元気をもらっています。
- ・楽しくボランティア活動させもらっています。ありがとうございます。
- ・参加して日が浅いのですが優しくご指導していただき、少しずつ色々な体験ができ楽しみが増えました。子ども達とのふれあいも楽しいです。
- ・伊加賀小は保護者・幼児の参加も多く親子のふれあいに一役かっています。皆さんの笑顔に私も元気をもらえます。
- ・今年度入会したばかりなので何もわかりませんが伊加賀小学校に参加して元気な子ども達と一緒に過ごせるのが楽しいです。

## 7、ボランティア会員の声 ②中ブロック

### ④ SA 交野

①「玉手箱」での「手作りおもちゃ交流」と「ニュースポーツの普及活動」は令和1年3月よりすべて休止としてきました。但し、毎月の定例会と屋外の「ニュースポーツ研修会」は実施してきました。令和5年10月から公共施設の使用が可能となり、子ども達と一緒に「おもちゃ作り」をやめて作成した「手作りおもちゃ」を体育施設等に来られた子どもさん達へ差し上げ喜んで貰っていました。

令和5年5月8日「新型コロナウイルス感染症→5類感染症」に移行し、私達はマスクを着装し「手作りおもちゃ交流」と「ニュースポーツの普及活動」を楽しんでいます。(河野 良)

②「日本語プラザ教室」は、コロナ禍のため令和1年3月～5月と休講し6月から再開しました。コロナ禍の中「日本語プラザ教室」ではマスクをかけたスタッフ達と学習者達が登校し先ず手の消毒体温を記入してから「マンツーマン形式」の日本語学習支援活動を、「3密」を避け机の両端に座り時短で活動してきました。この時期は遠足や他の活動も自粛していました。

令和5年5月8日「新型コロナウイルス感染症→5類感染症」に移行し、私達の教室は本来のロの字型の机の配置に戻り、元来の和気藹々とした教室風景が蘇ってきました。少しずつ課外活動も増やしていき、今年10月には「たこ焼き作りパーティ」を予定しています。(田中 暁子)

### ⑤ SA 八尾・柏原

① 30周年誌を頂戴したのは、ついこの間のように、“歳月人を待たず”会報「シルバー通信」と共に、今回の記念誌の発刊には随分なご苦勞のことと推察し、感服の限りです。

お陰さまで、SA八尾・柏原も令和5年度に20周年の節目を超えることができました。この間の活動と行事運営に参画できた安堵と共に、この先もう少し奮闘しなければと考える所です。

どうか、連協幹部の皆様には健康にご留意のうえ、英知を集め、一層のご活躍を続けられますと共に本協議会の益々の発展を心から願っています。(早瀬 隆清)

② 平成22年から、介護老人ホーム「あおぞら」にて、月1回手作りおもちゃを作って、楽しんでもらう活動に関わっていました。それが、コロナ禍で活動休止となり、再開を信じ色々企画していたので残念です。しかし、八尾・柏原の月1度の定例会や、年に1度のふれあいまつり、ATCや船場まつりでのバルーン活動、おもちゃ部会等、地域に根ざした活動に、仲間と力を合わせて邁進しています。(井上 勝)

③ 去年よりSA八尾・柏原のメンバーに入り、約1年間はいくつかの行事に雑用スタッフとして参加しました。35年間の歴史があるのはやはりすごいと思います。今後は好きなマジックのボランティアを通じて皆様と元気に「ふれあい」たい、と思います。(乾 祐子)



## 7、ボランティア会員の声 ②中ブロック

### ⑥SA 四條畷

令和5年再出発致しました。会員7名、全員80歳以上、殆どがシルバーアドバイザー四條畷をご存知ありませんでした。でも今年で活動3年目です。

この9月からは第2学期、放課後子ども教室が始まります。全員で寝屋川公園フェスティバルには、11月3日、令和5年、6年度に続き、おもちゃ作りで参加いたします。小学校の子ども教室でのおもちゃ作りは毎月放課後にあります。

またSA四條畷の会員の勉強会を6年度はSA交野会長田中暁子さんによる「源氏物語」ミニ講演、7年度はSA四條畷会員の熱田明子栄養士による「日常の食生活」のミニ講演をして頂きました。会員活動できるのは5名ですが、出来る範囲内で活動を続けていきたいと思っております。

おもちゃ作りは下準備がたいへんですが、公式輪投げなど放課後子ども教室に取り入れていけたら、場所も取りませんし楽しいと思っています。

(塩野孝子)

### ⑧SA 東大阪

①再開から2年副会長を務め、その後会長就任。地区内の支援学校ボランティアに参加し、最近「歩こうかいに2か月に1回参加し、地元密接の活動に今後も邁進したいと思っています。」

(片山 憲一)

②SA 東大阪の役員として活動。ラグビーワールドカップ地元花園で活動しボランティアで世界のVIP送迎とおもてなしに力を注ぎたい

(島野 純一)

③相撲甚句会(現在7名)年2回、甚句指導委員として生野、平野区民ホールで実施活動しております。

(高間 新二)

④聴覚ボランティアのノートテイクや支援学校のおもちゃ作りボランティアとして活動中。

(安田 澄子)

## 7、ボランティア会員の声 ③南ブロック

### ① SA 藤井寺

①平成27年4月NPO大阪府高齢者大学校7期生ボランティアコース受講、今まで経験、体験した事のない車いす扱い等の福祉について学びました！修了後、平成28年4月「リフレッシュ体操」(月2回)を、立ち上げ9年、現在部会員45名になりました。

(辻 佳子 高大)

② SA藤井寺の会議に参加させて頂き皆さん色々なボランティア活動されている事を知りました。令和5年9月に立ち上ったカーリンコン教室(月2回)に参加させて頂いて、足腰の運動になり、老若男女関係なく笑ったり、悔しがったり友達も沢山できました。今後もっと沢山のの方に参加頂き地域に根付いていけば、いいなあと思います

(M , F)

③ ボランティアグループSA藤井寺所属のお手玉サークル遊に入会。高齢者大学校3年。区民カレッジ、府民カレッジと入学沢山のひとと出会え、色々な事を学ばせて頂きました。お手玉サークル遊、おもちゃ部会、リフレッシュ体操、パソコン等楽しく学ばせて頂いています。ボランティア活動に参加させて頂いております

(後藤 知津子 高大)



SA藤井寺役員

## 7、大阪府 SA 連協会員の声 ③南ブロック

### ② 堺 SA

①長年 歌体操を続けて来て最近嬉しいことがありました。デイサービスに行って先方様からの感想の中で、理学療法士さんが、いくら言っても身体を動かしてくれなかった人が、歌体操では自然に身体が動いていた、ことに驚かれたそうです。歌体操にはそういう力があることが分かり、これからも少しでもお役に立てばと思っています。 (井上一江 歌体操)

②堺 SA に入会して、先輩のお手伝いで数回おもちや作りのイベントに参加させて貰いました。出来上がった作品で嬉々として楽しむ子供たちを見るにつけ、やりがいのあるボランティアだなあと大いに感激しました。しかし、1年も経たないでコロナ渦に・・・今は、もう少し早く活動を始めていればと悔やむことしきりです。 (岡本十志子)

### ③いずみ SA

①地域の皆さんとコミュニケーションを取りながら会員一同頑張っています。子ども科学教室やおもちや作り（ものづくり・折り染）や、歌体操で施設訪問して皆さんと続けて行きたいし、また図書館・小学校などでの世代間交流・地域まつりなどで要請があれば微力ながら続け、頑張っていきたいです。 (百子トミ子)

②SA 養成講座 17 期を修了後当会を立ち上げた。当初は3名の会員で、風船を使って「みんなであそぼう」を行い、当初風船を膨らますことも出来なかったし、うさぎやとびねずみしか作れなかったが、いろんな作品が作れるようになった。今後も新しい活動に取り組んでいきたい。 (中川 明子)

③ありがとう、老後を豊かに過ごさせてもらっています。 (奥 克太郎)

④皆さんと活動したり、おしゃべりしたりすることが楽しいです。誰かの役にたっているかなと感じます。 (高松真津子)

⑤35 年凄いですね！温かな輪が更に広がるように頑張ります。 (榎谷由美子)

⑥体験-出会い-再発見明日への新たな一歩今日も元気だ・・・(笑) (植野 菊三)

⑦自分の宝は自分で作る、物事を損得ではなく善悪で判断する (たなか しずえ)

⑧発足時からの会員で、今は、一番の高齢者となりました。健康で明るく特技を持った方々との活動交流は楽しくもあり、しんどくもありましたが、ボランティア精神は身につきました。気づき、考えて行動する若者が増えて欲しいと願っています。 (森 民子)



## 8、大阪府 SA 連協 35 年のあゆみと内外の主な出来事

| 年号  | 西暦   | 年の漢字 | 府 SA 創立 | ・大阪府<br>・国内<br>・世界  |
|-----|------|------|---------|---|
| H2  | 1990 |      | 0       | 3 月国際花と緑の博覧会  |
| H2  | 1990 |      | 0       | <b>府 SA 連協</b> 11 月 10 日発足・会員 268 名、支部 15 支部  |
| H3  | 1991 |      | 1       | 4 月 5 代知事 中川和雄  |
| H4  | 1992 |      | 2       | バルセロナオリンピック   |
| H5  | 1993 |      | 3       | 5 月日本プロサッカー J リーグ開幕 6 月皇太子結婚の儀<br>8 月細川連立内閣発足   |
| H6  | 1994 |      | 4       | リレハンメルオリンピック 9 月関西国際空港開港  |
| H7  | 1995 | 震    | 5       | 1 月阪神淡路大震災 4 月 6 代知事 横山ノック WINDOUW95 発売 PHS サービス開始                                    |
| H7  | 1995 |      | 5       | <b>府 SA 連協</b> ：SA 養成 講座＝国際交流・世代間交流・福祉ボランティア・支部 16 支部                                 |
| H8  | 1996 | 食    | 6       | 5 月中央図書館東大阪市オープン 5 月なみはやドームオープン<br>アトランタオリンピック  |
| H9  | 1997 | 倒    | 7       | 8 月大阪モノレール大阪空港～門真開通   |
| H10 | 1998 | 毒    | 8       | 長野オリンピック 10 月大阪モノレール万博記念公園～阪大病院前開通  |
| H11 | 1999 | 末    | 9       | 4 月横山ノック知事 再選 6 月ビッグンオープン 携帯電話メールサービス開始   |
| H12 | 2000 | 金    | 10      | 7 代知事 太田房江 4 月大阪国際会議場オープン<br>11 月ねりん、ピック大阪開催 シドニーオリンピック                               |
| H12 | 2000 |      | 10      | <b>府 SA 連協</b> ：設立 10 周年 ・SA 養成講座コースの地域での活動始まる<br>「講座コース＝国際交流・世代間交流・福祉ボランティア・地域活動」    |
| H13 | 2001 | 戦    | 11      | 3 月ユニバーサルスタジオオープン 9 月ビッグアイオープン<br>写メール大ヒット  |
| H14 | 2002 | 帰    | 12      | ソルトレイクシティオリンピック 5 月 6 月サッカーワールドカップ日韓共同開催  |
| H15 | 2003 | 虎    | 13      | 3 月世界水フォーラム開催   |
| H16 | 2004 | 災    | 14      | 4 月彩都 1 部まち開き アテネオリンピック   |
| H17 | 2005 | 愛    | 15      | 5 月プロ野球初セ・パ交流試合実施 10 月道路公団民営化<br>初日本の人口減少総人口 1 億 2775 万 6815 人                        |
| H17 | 2005 |      | 15      | <b>府 SA 連協設立 15 周年</b> 地域活動・歌体操、おもちゃ、HP、CB 教室活動スタート<br>・記念誌発行                         |
|     | 2006 | 命    | 16      | トリノオリンピック 4 月堺市政令指定都市に サッカードイツ大会  |
| H18 | 2006 |      | 16      | <b>府 SA 連協</b> ： NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪発足<br>正会員 53 名 賛助会員 55 名。 ・府 SA 連協役員 SA ネット大阪に移籍 |
| H19 | 2007 | 偽    | 17      | 3 月大阪モノレール阪大病院前～彩都西開通   |
| H20 | 2008 | 変    | 18      | 2 月 8 代知事 橋下徹 3 月 JR おおさか東線 放出～久宝寺開通  |

|     |      |   |    |  |
|-----|------|---|----|--|
|     |      |   |    | 10月京阪中之島線天満橋～中之島開通 北京オリンピック<br>iPhone 日本で発売開始 Facebook Twitter サービス開始  |
| H21 | 2009 | 新 | 19 | 3月阪神なんば線西九条～大阪難波開通 androidのスマートフォン<br>登場   |
| H21 | 2009 |   | 19 | <b>「NPO 法人大阪府高齢者大学校」設立。</b><br>「SA 養成講座」「高齢者大学講座」が、大阪府の協力・支援を得て市民の手による、「NPO 法人大阪府高齢者大学校」として継続されることになる。   |
| H22 | 2010 | 暑 | 20 | バンクーバーオリンピック 3月第2京阪道路開通 6月WBCを咲洲庁舎と命名  |
| H22 | 2010 |   | 20 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府SA連協設立20周年：記念誌発行</li> <li>・「第1回 府SA連協歌体操フェスタ」（吹田市武道館でスタート）</li> <li>・あり方委員会プロジェクト発足</li> <li>・府SA連協を北、中、南の3ブロック制導入（地区活性化、連帯感）</li> <li>・大阪府主催高齢者大学校は、21期生で閉校</li> </ul> |
| H23 | 2011 | 絆 | 21 | 3月東日本大震災 11月第9代知事松井一郎 12月橋下徹大阪市長<br>LINE サービス開始  |
| H23 | 2011 |   | 21 | <b>府SA連協</b> ：HP 部会にブログ研究部会開設、18地区内に、活動ブログを開設  |
| H24 | 2012 | 金 | 22 | 3月岬町多奈川地区多目的公園開設 10月山中伸弥京大教授ノーベル生理・医学賞受賞 ロンドンオリンピック  |
| H24 | 2012 |   | 22 | <b>地区SAの会則改定</b> . 会員減対策「入会条件緩和 SA 修了生でなく SA 賛同者に変更」<br>・大阪区民カレッジ次年開校準備  |
| H25 | 2013 | 輪 | 23 | 4月うめきたグランフロント大阪オープン 9月2020年東京オリンピック開催決定  |
| H26 | 2014 | 税 | 24 | ソチオリンピック 3月日本一の高層ビルあべのハルクスグランドオープン<br>4月消費税5%⇒8% 9月大阪府広報キャラクターモッピー⇒もずやん  |
| H27 | 2015 | 安 | 25 | 5月大阪都構想住民投票否決 12月大阪市長吉村洋文  |
| H27 | 2015 |   | 25 | <b>府SA連協</b> ：新しく開校の大阪府北部コミュニティーカレッジ、SA 講座に44名が受講。この方々は新規入会対象者となる。5月には北部ブロックの地区SAの紹介を実施、今後も情報交換し合い友好関係を構築。   |
| H28 | 2016 | 金 | 26 | 6月18歳以上国民に選挙権付与リオデジャネイロオリンピック  |
| H28 | 2016 |   | 26 | <b>シルバー通信広告掲載スタート（掲載料）</b><br>・大阪府民カレッジ次年開校準備  |
| H29 | 2017 | 北 | 27 | 1月宿泊税導入 3月大阪国際がんセンター開業森ノ宮⇒大手前<br>8月羽曳野市に動物愛護管理センターオープン   |
| H29 | 2017 |   | 27 | <b>提案営業、受託事業開始</b> 南港「ATC 親子おもちゃ教室他」スタート   |
| H30 | 2018 | 災 | 28 | ピョンチャンオリンピック 3月新名神高速道路開通神戸JC～高槻JC。<br>6月大阪北部地震<br>9月台風21号襲来関西空港連絡橋一部破損<br>10月本庶佑京大教授ノーベル賞生理学・医学賞受賞<br>11月2025年国際博覧会大阪開催決定  |

|    |      |   |    |  |
|----|------|---|----|--|
| R1 | 2019 | 令 | 29 | 3月おおさか東線新大阪～放出開通 4月松井一郎大阪市長第10代知事吉村洋文5月今上天皇陛下即位令和改元6月G20大阪サミット開催インテックス大阪7月百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録 10月消費税8%➡10% |
| R1 | 2019 |   | 29 | <b>府SA連協</b> ：「地区SAの活性化への貢献」・大阪府高齢介護室 介護支援課との会合を実施し、今後定例会合をする道ができた。<br>・SA東大阪が再度立ち上げ、約10名の新会員          |
| R2 | 2020 | 密 | 30 | 2月新型コロナウイルス感染症指定 3月東京オリンピック延期<br>3月阪神高速道路大和川線鉄砲～三宅西開通 4月新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言① 11月大阪都構想住民投票否決             |
| R3 | 2021 | 金 | 31 | 1月新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言② 4月新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言③ 7月東京オリンピック開幕   |
| R3 | 2021 |   | 31 | <b>府SA連協設立30周年</b> 記念誌発行過去10年間の活動・府SA連協沿革・3ブロック地区のあゆみ・部門のあゆみ・施設/会員の声、検証。                               |
| R4 | 2022 | 戦 | 32 | 冬季北京オリンピック 2月ロシアウクライナ侵略 蔓延防止 34都道府県 トンガ海底火山噴火  |
| R5 | 2023 | 税 | 33 | 3月WBC日本優勝 10月イスラエルがガザ侵攻  |
| R5 | 2023 |   | 33 | <b>府SA連協</b> 「新あり方委員会」発足。問題点の抽出、解決策について協議を重ね今年には委員会報告に基づいての実践。   |
| R6 | 2024 | 金 | 34 | 7月1万円札渋沢栄一5千円札津田梅子千円札北里柴三郎紙幣一新<br>7月パリオリンピック   |
| R7 | 2025 |   | 35 | <b>府SA連協</b> ：「設立35周年プロジェクト」（4プロジェクト）発足。委員会を設置し委員会の中で、歴史を振り返り、現状を認識し、将来ビジョンをつくる。総意を纏める作業実施。            |

## 大阪府SA連協 35年のあゆみ記念誌



## 9、新規事業報告

### ウクライナ避難民支援プロジェクトレポート

(シルバーアドバイザー・ネット大阪)

| 活動内容  | NO・イベント名   |
|---|--|
|  <p>ウクライナからの日本に<br/>来られた方々への<br/>支援プロジェクト</p> <p>クラウドファンディング<br/>目標金額 30万円<br/>期間 2024 5.1～ 7.31</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄付金・368,000</li> <li>・ 助成金・302,000</li> <li>・ 合計・670,000<br/>予算確定</li> </ul> <p>NO-0 ・ 寄付金・助成金<br/>クラウドファンディング<br/>ユングランド＝寄付金代行<br/>ケイズハウス助成金</p> <p>・ 2024, 5, 1～ 2024, 7, 31</p>  |
|    | <p>NO-1 ・ 仮装パーティー<br/>ハロインパーティー<br/>最初の企画パーティーに招待<br/>・ ウクライナの人には<br/>おもちゃ作りブース</p> <p>・ 2024, 10, 25</p>  |
|  <p>クレオ大阪中央</p>   |  <p>開催挨拶</p>  <p>レクチャー</p> <p>NO-2 日本料理教室<br/>ウクライナの人に日本料理</p> <p>イベントに必要な、<br/>人, 物, 金<br/>講師、通訳、会場、経費が<br/>自力で実行出来た。</p> <p>・ 2024, 11, 2</p> |
|  <p>千里フィルハーモニー大阪</p>   |  <p>会場アクセス図</p> <p>NO-3 ニュー イヤーコンサート<br/>千里フィルハーモニー大阪<br/>オーケストラによる、<br/>ウクライナ民謡演奏に謝礼<br/>メール</p> <p>・ 2025, 1, 13</p>   |
|  <p>YOLO BASE</p>  |  <p>外国人食堂<br/>-International Cafeteria-<br/>in Osaka</p> <p>NO-4 バレンタインフェスタ<br/>日本在住の各国人たちの交<br/>流パーティー<br/>(バレンタイン) に<br/>ウクライナの人たちを招待<br/>外国人の人たちの困りごと<br/>の行政窓口も有り。</p> <p>・ 2025, 2, 14</p>                                  |



NO-5 藤井寺市古民家登録  
松永白洲記念館古文化体験  
・書道体験・平和/ピース  
ウクライナに平和を  
・一筆書き体験  
忘れな草・花言葉＝  
真実の愛/私を忘れないで

・ 2025, 4, 20



① ウクライナ避難民支援事業： 共催（国際交流センターとの共催）



NO-1 日本の着物  
着付け教室  
日本の着物（浴衣）の  
着付け体験研修  
\*プレゼント「万博支援  
幸せの星」早速バックに

・ 2025, 2, 23



NO-2 日本の伝統作法  
お茶体験教室  
茶道おもてなし作法  
（国際交流センター）

・ 2025, 3, 16

所感

初めてクラウドファンディングに挑戦、皆様のご協力をもちまして目標を達成しケイズハウスという企業から同等額の助成金を頂き合計 67 万円の支援事業を実施中です。独自に計画主催したイベントが5回交際交流センターとの共催イベントが2回実施済みです。

今年も継続して事業を実施致します。ウクライナから避難されている方が孤独感を少しでも和らげて頂けるよう、又縁あって来られた日本の事を少しでも好きになって貰えるよう、良い国だと思っ貰えるように企画をたてて進めていきます。

今後も皆様方の暖かいご支援を引き続き宜しくお願い致します。

村松

## 編集後記

35周年記念誌発行にあたって。

2020年に30周年記念誌を発刊して5年の月日が経ちましたが、2019年末からのコロナ禍3年余りを経験しました。この間各地区SA活動の制約の時期もありましたが、現況の姿を記録に留め、諸先輩方の持続可能な社会貢献活動を後世に引継ぎしていくのが、現在の私達の使命との思いで、編集に努めました。

1年余りオンライン会議、対面での検討会も重ね、2025年11月22日開催の35周年記念大会までに発刊出来る様に努めました。本記念誌が、会員の皆様方の今後のご参考に少しでもなれば、と願っています。

本誌発刊にあたり、大阪府知事を初めとして、関連諸団体の代表様からも祝辞を賜り心より感謝申し上げます。また、各地区SA会長、会員の皆様、施設・学校の皆様からのご寄稿頂きありがとうございました。

(松木健一：記)

### —編集委員—

大川正彦・下川順夫・上山乃婦子・松木健一



### 35周年記念誌

発行日：2025年11月吉日

発行人：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先：大阪市城東区今福東1丁目8-15-308

TEL：080-3040-6336

URL: <https://sarenkyou.net/>

先着50名様限定

お試しモニター募集

# 糸リフト & 法令線ヒアルロン酸



小顔

リフトアップ

若返り



Before

After



Before

After

※効果には個人差があります。※モニター価格は、初回施術のみに適用されます。

ルヴィクリニックイオンドーム前院 /  
**お試しモニター限定セット**

ヒアルロン酸1本〈韓国製〉 & 糸リフト4本

通常料金 55,000円

通常料金 88,000円

お試しモニター価格

**49,800円** (税込)

※局部麻酔代無料 ※カウンセリング代無料



再来可

さまざまな肌悩みに合わせたシミ治療

## シミ取り放題

個数制限無し

全顔1回

特別価格

**5,500円** (税込)

通常料金 55,000円



Before



After

※ドクターの判断によってできないシミもあります。※効果には個人差があります。



小西院長

イオンモール大阪ドームシティ4階

ご予約はお電話かLINEにてお願い致します。

【予約専用】 ☎06-6978-8835



公式LINE



ルヴィクリニック  
イオンドーム前院

〒550-0023 大阪府大阪市西区千代崎3丁目13-1 イオンモール大阪ドームシティ4F